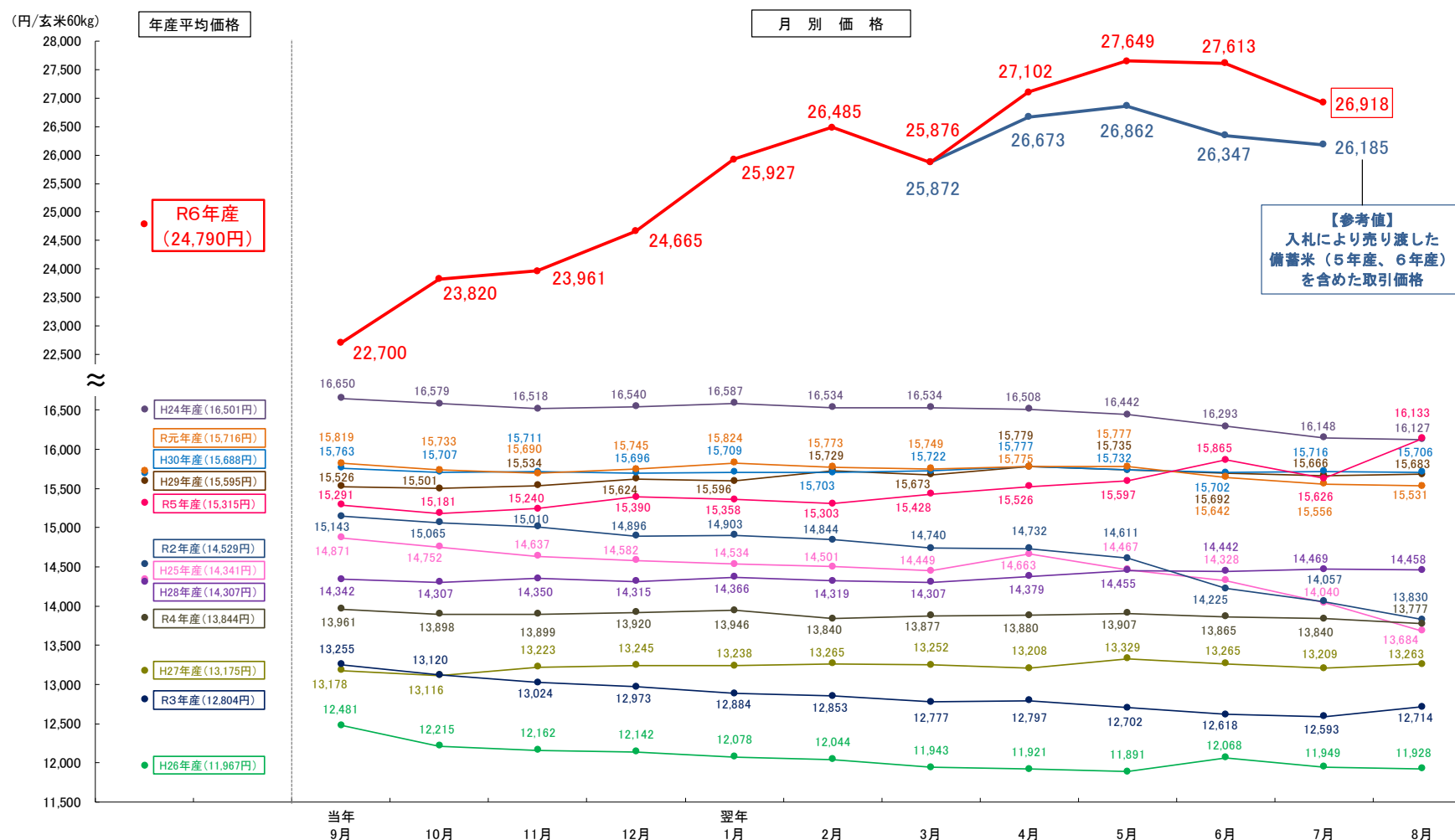


相対取引価格の推移(平成24年産～令和6年産)

- 令和6年産米の令和7年7月の相対取引価格は、備蓄米の取引を含む全銘柄平均で26,918円/60kgとなり、対前年同月+11,292円(+72%)、対前月▲695円(▲3%)。取扱数量は、4.0万トンとなったところ。
- 令和6年産米は、例年より早いペースで取引(契約)が進み、令和7年7月で取引(契約)は終盤となっていることから、7月の取引価格が令和6年産米の取引全体に与える影響は小さい(次ページ参照)。
- なお、令和7年3月以降の米の取引価格の参考として、令和5年産の備蓄米も含めると、26,185円/60kg。
- 令和7年7月までの年産平均価格24,790円/60kgは、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、比較可能な平成2年以降で過去最高の価格である。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額(平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%)を含む1等米の価格である。

注2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで(6年産は出回りから令和7年7月までの速報値)の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移。

注3：令和5年産の備蓄米は、政府備蓄米の買戻し条件付売渡しの販売数量等の報告から集計。

令和6年産米の相対取引価格

○ 令和7年7月の取引数量は4.0万トンと、これまでの令和6年産米の取引数量全体の約2%であるため、7月の取引価格が令和6年産米の取引全体に与える影響は小さい。

(円/玄米60kg)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

注2：グラフ左側の年産平均価格は、出回りから翌年7月までの通年平均価格（速報値）、右側は月ごとの価格の推移。

注3：令和7年3月から7月までには、令和6年産の備蓄米の取引を含む。